

Q

昭和二十一年一月二十三日嶋田繁太郎訊問より抜粋

2498-B

問 山本氏、其、真珠湾攻撃計画ヲ参り謀本部ニ
提議シタ、一九四一年(昭和十六年)、初期デハアリマセンデ
シタカ。

答 全氏、一九四一年一月ニ夫シテ提議シタト私、聞イテ
居マス

問 當時全氏、聯合艦隊司令長官デシタネ

答 左様デシタ。

問 永野大將が其計画、研究ヲ進ムヤウニ全氏ニ
指令シタ、一九四一年三月デシタネ……

答 其、実ニ聞シタ、私、其、日取、知りアセンガ、モ
トは、事、様デアリマス。

問 此、シ、一九四一年、初期デハカッタ、デスカ

答 現、ウ、五月カ六月カッタト思ヒマス。

問 五月カ六月ニ全氏、計画が研究的ニ採用
セシタ、デスカ

No.1

答 最初ハ一般計画ニハ真珠湾攻撃ニ関スル計
画ハ有リマセンデシタガ五月カ六月頃ニ正式ニ用

2498 B

ヒルコトニナラズ。小本氏ニ依リテ為サレタ艦隊訓練
ヲ研究ハ一九四一年五月カ六月頃ニ開始サレタト因
ヒマス。

問海軍が浅海魚雷、製作ヲ開始シテ、一九四一年
(昭和十六年)、初メタラタト云フコトハ内示知テスネ

答ハイ、能ク承知シテ居リマス。

問其レハ具珠湾が浅瀬ナルコトヲ海軍に能ク
知ラセタカニテハ有リマセンカ。

答ハイ、其ノ通りデス。

問處テ艦隊、其ノ魚雷ヲ用ヒテ訓練ヲ一九
四一年、夏一杯ヤリマシマスネ。

答ハイ、左様ト因ヒマス。

問、諸一九四一年(昭和十六年)十一月十日南雲海軍
中將、其旗艦航空母艦土城艦上ニ於テ攻撃
作戰命令ヲ一ツラ發シ一九四一年十一月二十日迄ニ
ハ金軍ニ戦鬪ヲ數ラ完ラスベキ様ニ命ジマシ
マス。

答左様ニ因ヒマス。

No. 2

2498B

同 千島列島中擇提島軍冠湾が機動部隊、
集合地奥トシテ攻撃作戦命令第一号ニ指定
セテサレタス。

答 其通リデアリマス。

同 一九四一年十一月廿一日カウ合セ七日、同ニ於テ攻撃部
隊ハ四軍冠湾ニ集合シテ居リマシタス。

答 ハイ。ソウデアリマス。

同 攻撃部隊ハ一九四一年十一月廿七日四軍冠湾ヲ進者
十二月四日又ハ五日ニ至ルベシト東方ニ向ケ航海シマ
シタス。

答 其通リデアリマス。

同 ソレカウ進路ヲ南東ニ變ジ布哇ニ向ヒマシタス。

答 ハイソウデス。

同 布哇ヲ去ル約ニ五〇哩、地奥ニ到達シタル時不図、
飛行編隊ガ接近サレマシタス。

No. 3 答 ハイソウデス。

同 第六艦隊中、二十隻カ三十隻、日本潜水艦、一隊
ガ攻撃ニ先立テ奥珠湾、外側ヲ偵察シマシタス。

2498B.

B $\frac{2}{3} \times 1 = \frac{2}{3} \times 1 = \frac{2}{3}$

2498 同ソウジヤ五六に隻カウナル小型潜水艦、一隊(同)灣
ニ侵入セント試ミマシタネ。

$$\frac{1}{2} \sqrt{a} : 1 : \frac{1}{2} \sqrt{a} : 2$$